



主題名 対立から学ぶ（対立の解決の仕方を考える）

教材名 視点メガネ—対立から学ぶ②—
 （参考資料/ウィリアム・クライドラー著「対立から学ぼう」ERIC国際理解教育センター編）

人権学習の視点 普遍的な視点「コミュニケーション能力」

主題・教材について ※同学年で、①②を続けて学習してもよい。

ものの見方や考え方、感じ方は、人それぞれで違いがあり、すべてが同じということはない。一人一人が固有の経験や体験をしながら成長しており、その過程で自分の視点を培っている。対立する場面に直面したとき、相手が自分とは異なる視点で判断をしていることを「視点メガネ」という捉え方から気付かせる。その上で、対立の解決に向けて互いに思いや願いを伝え合うことで、建設的に解決しようとする態度を養いたい。

ねらい 一人一人ものの見方や考え方には違いがあることを「視点メガネ」という考え方を通して理解し、対立を建設的に解決しようとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	視点メガネを通すとどう感じるだろう。					資料集 「視点メガネ」
	○「視点メガネ」という考え方を捉えさせる。	一斉	○イラストを参考にして、視点メガネについて理解する。	○「体調」「感情」「目標」「環境」の4つの視点メガネについて具体的に認識させる。 ○「視点メガネ」は、偏見や色眼鏡とは違い、人それぞれでものの見方が違うということである。		
展開	対立を解決する方法を考えよう。					ワークシート No.1 項目①
	○「教科書貸し借り編」で2人の視点の違いに気づき、解決方法を考えさせる。	一斉 個別 グループ	○例に従って、AさんとBさんの視点の違い、それぞれの視点で見た対立の状況を考え、発表する。 ○対立を解決するために、互いにどうすればよいかを考え、意見を発表し合う。	○2人は日頃から交友があり仲良しであるにもかかわらず、些細なことで対立していることをおさえる。 ○Aさんは～だから、と理由も付けながら、解決策を発表できることが望ましい。		
	○「体育大会編」で2人の視点の違いに気づき、解決方法を考えさせる。	一斉 個別 グループ	○グループで出た意見を発表する。 ○CさんとDさんの視点の違い、それぞれの視点で見た対立の状況を考え、発表する。	○それぞれの立場に立って考えることで、互いの思いや願いを伝え合うことの大切さに気付かせる。		
		一斉	○対立を解決するために、互いにどうすればよいかを考え、意見を発表し合う。 ○グループで出た意見を発表する。			
まとめ	対立したときに、必要なことは何だろう。					ワークシート No.2 項目③
○対立した時にどのようなことが大切なのかを両者の視点の違いを念頭に置いてまとめさせる。	個別 一斉	○今日の学習で学んだことを自分の言葉でまとめさせる。	○視点の違いがあることを理解した上で、互いの思いや願いを伝え合い、解決の方法を考えることの大切さをおさえる。			

<留意点> 「視点メガネ」は、偏見や色眼鏡とは違い、人それぞれでものの見方が違うということである。

評価

一人一人ものの見方や考え方には違いがあることを理解し、対立を建設的に解決しようとする態度を養うことができたか。